

個人ローンシステム

開発コストが70%減に

アクセスなど5社、共同で提供

金融機関向けに個人ローン分野のシステムを開発する複数の中堅事業者が、ITソリューションを共同で提案するコンソーシアムを立ち上げ活動を始めた。開発生産性の向上やコスト削減を目指す。

組織名は「アルフィンドテクノロジ(本社・東京)が事務局を務める。今後、20社程度になる見込み。

対象は、無担保個人ローンのシステム構築を検討している地域金融機関。開発コストが70%以下になるようワンストップ・ソリューションを提供する。

これまで、勘定系システム上で開発するが複数事業者のシステムを組み合わせ構築するのが主だったが、システム構築に手間が掛かるうえ、度重なる制度変更などへ柔軟に対応できなかった。

「アルフィス」では、戦略や業務コンサルテーション、システム導入などをワンパッケージで提供するため大幅なコスト削減が可能。事務局では「個人ローン」を収益源にしたいと考

える金融機関のニーズに「応えたい」としており、大手地方銀行などへの推進活動を始める。6月2日に設立セ

ミナーの開催を予定。